

三菱ふそうトラック・バス株式会社と川崎市との 包括的な連携・協力に関する協定の締結について

川崎市と三菱ふそうトラック・バス株式会社は、川崎市をフィールドとして、相互の持つ知的、物的、人的資源を活用し、環境配慮型社会の構築など先端技術のイノベーション推進によるグローバルな社会課題の解決、また安全・安心のまちづくりなど、地域との連携によるローカル課題の解決に向けて、相互に連携するための包括協定を締結します。

【連携・協力事項】

＜協定名称＞『三菱ふそうトラック・バス株式会社と川崎市との包括的な
連携・協力に関する協定書』

- 1) 省エネルギー化・地球温暖化対策へ向けたイノベーションの推進に関する事
- 2) 安全・安心のまちづくりに関する事
- 3) ものづくり技術の活用による産業振興・国際化推進に関する事
- 4) 地域との連携・子どもたちを地域で支える環境づくりに関する事

川崎市に本社を置くグローバルなものづくり企業である三菱ふそうトラック・バス株式会社との連携を深め、持続可能な暮らしやすい社会の実現を目指します。

なお、三菱ふそうトラック・バス株式会社が自治体との連携協定を締結するのは、初めての取組となります。

お問合せ先

- | | | |
|----------------------------|-------|-----------------|
| ■川崎市市民文化局コミュニティ推進部協働・連携推進課 | 担当 藤井 | 電話：044-200-2017 |
| ■三菱ふそうトラック・バス株式会社広報部 | 代表 | 電話：044-330-7701 |

【主な取組内容】

1) 省エネルギー化・地球温暖化対策へ向けたイノベーションの推進に関すること

新たな技術の推進及び啓発の取組による、省エネ・地球温暖化対策等、環境配慮型社会の構築に向けた連携を進めます。

<主な連携事項>

- ・川崎市をフィールドとした、EV ゴミ収集車の開発及び活用に向けた協働による事業モデルの推進
- ・環境啓発イベントでのEVゴミ収集車、EVトラック、急速充電設備の活用や技術紹介等の市民啓発の取組
- ・エコドライブ講習会開催等、事業者向けの自動車環境対策の推進

『川崎発の協働によるイノベーションの推進』

環境負荷の小さい電気を動力とした、「CO₂・NO_xの排出のない次世代自動車であるEV」の活用やエコドライブの推進など、低炭素社会の実現に向けて大きく貢献するための取組を「川崎市」と市内事業者である「三菱ふそうトラック・バス株式会社」との協働により実施し、環境先進都市川崎としてプレゼンスの向上を図る。



EVゴミ収集車の開発及び活用に向けた協働による事業モデル

【川崎市】
フィールドの提供
運用についてのアドバイス
市の有する環境行政のノウハウ



【三菱ふそうトラック・バス】
車両設計・開発
市側の意見の反映
事業者の有する環境技術

【主な取組内容】

2) 安全・安心のまちづくりに関すること

三菱ふそうトラック・バス関連施設の地域利用、三菱ふそうトラック・バスが有する資源の活用等、災害の際の連携のあり方の検討を進め、三菱ふそうトラック・バスと川崎市との協力・連絡体制の構築を進めます。

<主な連携事項>

- ・三菱ふそうトラック・バス関連施設(川崎製作所及び三菱ふそうトラック・バスが整備する平間配水所用地再編整備エリア緑地「FUSOグリーンガーデン」等)の一時避難場所としての活用や所有する資源などの災害時利用
- ・防災訓練への参加等の平時の際の連携推進



<平間配水所用地に整備された緑地「FUSOグリーンガーデン」>

3) ものづくり技術の活用による産業振興・国際化推進に関すること

地域のものづくりを代表する製造事業者であり、グローバル企業である三菱ふそうトラック・バスの強みを活かし、海外視察等の受け入れや魅力発信、市内中小企業との技術交流など国際社会に対応した環境づくりを推進します。

<主な連携事項>

- ・技術支援等を目的とした各種海外視察の受け入れ
- ・産業都市川崎の技術や魅力等を伝える国内視察、産業観光施策への協力
- ・市内中小企業等との技術交流の促進
- ・新川崎地区ネットワーク協議会、川崎工業振興倶楽部等、各種企業間ネットワークへの参画、産学官連携の推進

<市、ダイムラー、国際連合工業開発機構 (UNIDO) 共催による発展途上国の在日大使館員工場見学会の様子>



【主な取組内容】

4) 地域との連携・子どもたちを地域で支える環境づくりに関すること

環境配慮技術やものづくり技術等、三菱ふそうトラック・バスの強みを活かした子どもたちの教育への支援や、地域のイベント支援、清掃活動などによる地域貢献や地域の活性化に向けた取組の推進

＜主な連携事項＞

- ・小中学校への環境配慮技術・ものづくり技術などに関する学習支援(工場見学、職場体験、出張授業)や、地域の寺子屋への協力等、子どもたちへの教育活動の支援
- ・市立高等学校や大学等の学生インターンシップの受け入れ及び技術指導等の学習支援
- ・平間配水所用地再編整備エリア緑地「FUSOグリーンガーデン」の地域開放、利活用の検討
- ・地域イベントへの施設の休憩所としての提供等各種支援
- ・カーブミラー清掃等、地域の清掃活動への参加、緑化活動への参加
- ・子どもや家族向けイベントなど、暮らしやすい賑わいのある地域づくりへの協力



＜小学生の工場見学の様子＞



＜ファミリーデー in 三菱ふそう川崎工場の様子＞

三菱ふそうトラック・バス株式会社と川崎市との 包括的な連携・協力に関する協定書

三菱ふそうトラック・バス株式会社（以下「甲」という。）と川崎市（以下「乙」という。）は、次のとおり協定（以下「本協定」という。）を締結する。

（目的）

第1条 甲及び乙が、川崎市をフィールドとして、相互の持つ知的、物的、人的資源を活用し、環境配慮型社会の構築など先端技術のイノベーション推進によるグローバルな社会課題の解決、また安全・安心のまちづくりなど、地域との連携によるローカル課題の解決に向けて相互に連携し、持続可能な暮らしやすい社会の実現を目指すことを目的とする。

（連携・協力事項等）

第2条 甲及び乙は、本協定の目的を達成するため、次に掲げる事項について連携・協力を行う。

- （1）省エネルギー化・地球温暖化対策へ向けたイノベーションの推進に関する事
- （2）安全・安心のまちづくりに関する事
- （3）ものづくり技術の活用による産業振興・国際化推進に関する事
- （4）地域との連携・子どもたちを地域で支える環境づくりに関する事
- （5）その他前条の目的達成のために必要な事項に関する事

2 前項各号に定める事項を効果的に推進するため、甲及び乙は、必要に応じて協議を行うものとする。

（協定内容の変更）

第3条 甲又は乙のいずれかが、本協定の内容変更を申し出たときは、その都度協議の上、必要な変更を行うものとする。

（協定の有効期間）

第4条 本協定の有効期間は、協定締結の日から1年間とする。ただし、有効期間が満了する日の1月前までに、改廃について甲乙協議を行い、双方延長の合意を得た場合は、さらに1年間更新するものとし、その後の更新についても同様とする。

（協定の解約）

第5条 甲又は乙のいずれかが、本協定の解約を申し出たときは、前条の有効期間中にかかわらず、解約予定日の1月前までに書面により相手方に通知することにより、本協定の解約を行うものとする。

2 甲及び乙は、前項の規定による解約に係るいかなる責任も負わないものとする。

（覚書等の締結）

第6条 具体的な連携・協力の活動に際しては、必要に応じて覚書等を別に締結するものとする。

(疑義の決定)

第7条 本協定に定めない事項又は本協定の定める事項に関し、疑義等が生じた場合は、甲乙で協議して定めるものとする。

本協定の締結を証するため、本書2通を作成し、甲、乙それぞれ記名押印の上、各自その1通を保有するものとする。

平成30年3月9日

(甲) 神奈川県川崎市幸区鹿島田1丁目1番2号

三菱ふそうトラック・バス株式会社

代表取締役社長 マーク・リストセーヤ

(乙) 神奈川県川崎市川崎区宮本町1番地

川崎市

川 崎 市 長 福 田 紀 彦

P R E S S R E L E A S E

三菱ふそう

電気小型トラック「eCanter」のごみ収集車を開発

- 世界初の量産電気小型トラック「eCanter」の、ごみ収集車仕様を開発
- 川崎市との包括連携協定における協業のひとつ
- 排出ガスを出さずクリーンで静かな走行環境は、都市内のごみ収集車用途に最適

三菱ふそうトラック・バス株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長・CEO:マーク・リストセーヤ、以下 MFTBC)は、世界初の量産電気小型トラック「eCanter」の、ごみ収集車仕様を開発します。

「eCanter」は世界初の量産電気小型トラックとして2017年より北米、日本ならびに欧州市場に投入しました。

ゼロ排出ガスと騒音ゼロの環境性能の達成はもとより、商用車として求められる積載量の確保と維持コストの低減により高いレベルの経済性も獲得した、未来の都市配送を担う電気小型トラックです。また、優れた環境性能は都市における作業用車両としても最適です。

今回のごみ収集車は、塵芥架装で多くの経験と実績がある新明和工業株式会社(本社:兵庫県宝塚市、代表取締役社長:五十川 龍之、以下 新明和)と共同開発を行います。2019年の春を目処に、川崎市(市長:福田紀彦)とのごみ収集作業における走行試験及び性能確認を含めた実証試験を開始する予定です。

「この度、日本で初めての”eCanter ごみ収集車”の開発を発表できることを大変嬉しく思います。ごみ収集車は公共性が高く、環境と経済の両面で優れた性能が求められます。eCanter ごみ収集車は、CO₂を排出せず、また騒音を出さない車で、都市の環境改善と地球温暖化防止に貢献できるトラックです。今後さらに多くのお客様に導入いただけるよう、様々な要望に応えられるアプリケーションを充実してまいります。」(マーク・リストセーヤ:MFTBC 代表取締役社長・CEO)



eCanter ごみ収集車(イメージ)

三菱ふそうトラック・バス株式会社

神奈川県川崎市幸区鹿島田1丁目1番2号 〒212-0058 広報部 / Tel 044-330-7701 Fax 044-330-5830

MITSUBISHI FUSO TRUCK & BUS CORPORATION

1-1-2, Kashimada, Saiwai-ku, Kawasaki-shi, Kanagawa 212-0058, Japan Corporate Communications / Tel +81-44-330-7701 Fax +81-44-330-5830

www.mitsubishi-fuso.com

車両スペック

車型	モーター性能	充電時間	バッテリー容量	架装仕様
eCanter 日本国内仕様 (GVW 7.5t)	最高出力:135kW 最大トルク:390Nm	急速充電:最大約1.5時間 (直流 三相400V/125A) 普通充電:最大約11時間 (交流 单相200V/30A)	13.8kW x 6個 82.8kW	回転板式塵芥車 (新明和製)

以上

三菱ふそう ソーシャルメディア公式アカウント



<https://www.facebook.com/FusoOfficial>



<http://www.youtube.com/Fusoofficial>